

授業科目(ナンバリング)	スポーツ指導論 (CC306)			担当教員	※坂元 康成		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	3 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ ラーニング の 類 型
<p>スポーツの指導者・コーチとはどうあるべきか、コーチングも現状と課題の学習等を基礎として、スポーツの指導・コーチングの具体的な方法を身につける。</p> <p>現在、スポーツ活動に関する科学は、多分野に及び、対象と目的に合わせて安全に指導を行う上で必要な知識を指導者は習得する必要がある。スポーツ諸科学の知見を実際の指導現場で活用できる能力を身につけることを目的とする。</p>							②
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法	評価比率
専門力	・スポーツ指導に関して専門種目の指導法を立案することができる。					授業内小レポート	30%
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	・スポーツ指導に関するスポーツ諸科学の知識を説明できる。					授業内小レポート 定期テスト	10% 60%
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>授業内小レポート（評価基準 40%）：授業毎に小レポートを課し、授業内容の理解及び授業内容に対する思考、発想について評価する。レポートの内容については、次回講義にて適宜解説を行い、不良者は再提出を求める。</p> <p>テスト評価基準 60%）：期末に行うテストでは講義内容についての基礎的な知識の理解及び自身の思考、発想について評価する。</p>							
授 業 の 概 要							
<p>講義中心であるが、「覚える」よりも「考える」ことが重要であるため、講義中に決められた時間で自分の考えをまとめる課題を行う。専門的知識、指導計画立案、倫理観といったスポーツ指導者に必要な能力を身につけることを目指す。また、講義中の質問に対して学生個人の意見を求める場合もある。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書：講義の中で随時紹介する</p> <p>参考書：講義の中で随時紹介する</p> <p>指定図書：公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目Ⅰ（公財）日本体育協会</p>							
授 業 外 に お け る 学 修 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と							
<p>将来スポーツの指導者を目指す可能性のある学生の受講を希望する。</p> <p>受講時の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メモをとる！メモには「テクニカルターム（術語）」「重要事項」「関連事項」「ひらめいたこと」を！ ・ 講義の内容については資料で確認する。どこで何を調べることができるかをしる、が重要！！ <p>考える！自分なりの思考で構わない。大切なのはいつも自分が問いを発し、回答を用意すること。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション 指導者の役割Ⅰ	本講義の目的、内容等の説明、スポーツ指導者とは、指導者の心構え・視点、プレーヤーと指導者の望ましい関係	予) シラバスを読む
2	文化としてのスポーツ	スポーツの概念と歴史、我が国のスポーツ振興施策	復) スポーツ指導者の役割について小レポートを作成する
3	指導者の役割Ⅱ	世界の頂点をめざすアスリートの育成・強化の有り方と指導者の役割、トップアスリートを育てるために、スポーツの倫理	予) 専門種目の競技者育成プログラムを調べる
4	スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅰ	スポーツと健康、ウォーミングアップとクーリングダウンの役割、スポーツ活動中に多いケガや病気	復) 専門種目に多いスポーツ傷害を示す
5	スポーツと栄養	スポーツと栄養、水分補給、アンチドーピング、スポーツ活動と安全管理、救命救急法	復) ドーピング検査の実施方法について、JADAweb上で確認する
6	指導計画と安全管理	指導計画のたて方、スキルの獲得とその獲得過程	復) 専門種目の指導計画を立案する
7	安全管理の実際	AEDを用いた救命救急法、指導時の安全管理	復) スポーツ施設における危機管理体制について確認する
8	ジュニア期のスポーツ	発育発達期の身体的特徴、発育発達期に多いケガや病気、心理的特徴、発育発達期のプログラム、アスリートの発掘と育成	復) 対象に応じた指導計画を立案する
9	地域におけるスポーツ振興	地域におけるスポーツ振興方策と行政のかかわり	復) 地域のスポーツ振興施策についてまとめる
10	スポーツと法	スポーツにおけるスポーツ指導者の法的責任、スポーツと人権	復) 指導者の法的責任をまとめ小レポートを作成する
11	スポーツの心理	スポーツと心、スポーツにおける動機づけ、コーチングの心理	復) 対象に応じたスポーツ選手の心理についてまとめる
12	スポーツ組織の運営と事業	スポーツ組織の運営、スポーツ事業の計画、運営、評価、情報とその活用	復) クラブマネージャーの役割について小レポートを作成する
13	対象に合わせたスポーツ指導	中高年者とスポーツ、女性とスポーツ、障害者とスポーツ、プレーヤーと指導者の望ましい関係、ミーティングの方法	復) 対象に応じた指導計画を立案する
14	競技者育成のための指導法	トップアスリートを育てるために指導者がもつべき視点、競技者育成と評価、競技力向上のためのチームマネジメント、トップアスリートの育成と強化とその評価法、世界の頂点をめざすアスリートの育成・強化の在り方と指導者の役割、競技力向上のための情報とその活用	予) 指導法立案と発表
15	まとめ	正しいミーティングの方法、スポーツ指導にあなたはどう関わっていくか	復) 本講義で学んだことをレポートにまとめる